

朗らかな笑顔で活動！
まかせて会員さんにインタビュー

まかせて会員

さいともみ
崔 友美さん



【Profile】

小学生から大学生まで5人のお子さんを子育て中のママさん。ご自身の子育てが大変だった時に少しの手助けでも嬉しかったことを思い出し、まかせて会員養成講座を受講。3年間で10組の方とマッチングし、産前産後時の保育園への送迎や保護者の通院時の預かりなど、様々な困りごとに柔軟に対応。明るく、信頼のおけるお人柄で、おねがい会員から頼りにされている。

お預かりするお子さんたちは、わが子とはまた違った感覚でかわいさを楽しめます。みんな、とにかくかわいいです。



まかせて会員養成講座で、活動の様子や想いを語ってくださった崔さん。

「発表会には崔さんも来てね」と言ってくれたり、でっかい夢を教えてください。園で作った工作の時計をプレゼントしてもらったこともありました。全部、大切にっています。

「大それたことをしている感覚はない。
自分のできることをしているだけ」

小学生から大学生まで5人のお子さんを子育て中の崔さん。ファミサポの活動は崔さんだけでなく、ご家族にも楽しみと良い変化をもたらしているそうです。

「子どもたちも小さい子が大好き。学校から帰ってきた時に、ファミサポで預かる赤ちゃんがいるかどうか聞いてきたり、お迎えの車に同乗しておしゃべりを楽しんだり。その様子は見ていて、とても微笑ましいです。以前、子どもたちの登校前の時間帯の援助を引き受けた際には、『自分たちのことは自分たちでしなきゃ』という自覚が自然と芽生えていました。自立にちょっとつながったかな（笑）。」

援助前に行うマッチングでは、崔さんはその大らかなオーラでいつもあつという間におねがい会員さんの緊張を解いた後、預かるお子さんの癖や普段の様子を入念に確認します。それは、援助をする際に子どもがいつもやっている普段通りの行動をそっと見守ってあげたいからだそう。

「特に2～3歳の子はなんでも自分でやりたがります。そこは時間がかかっても普段やっていることなら省かずにやらせてあげたい。自分が抱っこしたほうが楽であっても、しすぎない。自分のときだけ甘やかすのは違うと思うんです。」

ファミサポの活動は、電車で泣いている子をそっとあやしてくれるような、ちょっとした親切を気負わずにしているイメージだと語る崔さん。

「子育て中の方が困った時、まずはご家族でなんとかしようとして、それでも困ったなとなった時、一番に思い出してくれる他人になれたらいいな。そうなれていたら嬉しいな。」

その想いは出会えた人を優しく包み、これからも笑顔の輪を広げていってくれることでしょう。

『まかせて会員』になって一緒に活動しませんか？

こんな想いの方

- 子どもが好き
- 困っている子育て家庭の力になりたい
- 子育て経験を活かしたい
- 人とのつながりを大切にしたい
- 空いている時間で何かしたい

できることだけでOK

- 自宅での預かりは難しい場合は相手宅での見守りを。
- 預かりの難しい方は送迎のみの援助を。

ご家族や友人など、活動に関心のある方をご紹介ください。

